

サインは街のナビゲーター

はじめて新潟を訪れた人でも、迷ったりとまどったりすることなく目的地へ行くためには案内や誘導の看板(=サイン)を適切に整備することがとても大切です。

「新潟市都市サインマニュアル」は、街の案内情報を提供する看板についての考え方と具体的な整備の方法をマニュアルとしてまとめたものです。

このたび新潟市では、合併や政令指定都市への移行、周辺状況の変化などにあわせてこのマニュアルを改訂しました。新マニュアルがめざすのは「わかりやすい街づくり、美しい街づくり」。

誰でも迷うことなく新潟市を歩けるように、歩行者向けの公共サインに関する計画・設計、管理を行う手引きとして活用していきます。

●サインとは？

街の情報を的確に伝える方法には、案内所やガイドなど人的な対応、ガイドブック・マップ等の紙媒体、インターネットなどさまざまなものがありますが、看板などのサインも、たいへん重要な手段のひとつです。これらの方法は単独ではなく、複合的に補いあいながら機能させることで、その効果はさらに大きくなります。「新潟市都市サインマニュアル」はそういった視点に立ちながら、トータルな表現方法と見やすくわかりやすいデザインを市の方針としてまとめています。

●サイン設置の基本方針

1. 個々のサインの表記などを統一させ誘導に連続性を持たせる
2. 単独ではなく、ほかの情報提供手段(案内所、マップ、音声ガイドなど)と補いあうことを視野にいれて整備する
3. 見やすく、目に付きやすい設計と表示
4. 地域の特徴的な建物や景色(NEXT21や萬代橋など)を、目印として地図上に積極的に取り入れ、街の個性や魅力もアピールする
5. ユニバーサルデザインの視点に立ち、誰にとっても分かりやすく利用しやすいものにする
6. 現在設置されているサインにも見やすいように改善を加え、有効に活用する
7. 街の景観を損なわないデザインを採用する

① アイマークについて

アイマークは、一般案内用図記号検討委員会が策定した標準案内用図記号のうち、「情報コーナー」を表すピクトグラムです。

歩いているときに目に付きやすい位置やデザイン、車椅子の人でも近づきやすい設置場所など、誰にとっても利用しやすくわかりやすいサインを設置します。

交通大拠点

- 外来者が最初に降り立つポイント
 - 次の交通手段に乗り換えることが多い
- JR新潟駅、新潟空港、万代シティ・バスセンター、新潟西港(佐渡汽船、北海道航路ターミナル)

JR新潟駅

次はバスに乗れば近くに行けるのね

交通拠点

- 外来者が歩行の起点とする地点
 - 乗り換えの多いバス停留所、鉄道駅等
- 新潟駅以外の鉄道駅、主なバス停留所、水上バス乗場等

よし、ここで乗り換えだ

分岐点

- 交通拠点から目的地までの間に歩行者動線が幹線道路等と交差する主要な交差点

右に行けば駅に着くんだな

●サインマニュアルの適用範囲

1. 道路管理者が管理する交通施設周辺(駅、バスターミナルなど)の誘導・案内サイン
2. 歩道を占有して管理する誘導・案内サイン
3. 公園や各施設にある外部施設への誘導・案内サイン

施設拠点(目的地)

- 目的地となる主要観光施設、主要な公園、公共施設等におけるサインを設置すべきポイント

着いたわ!

誘導ポイント

- 分岐点から目的地までの間に必要な案内誘導ポイント
- 交差点、曲がり角等

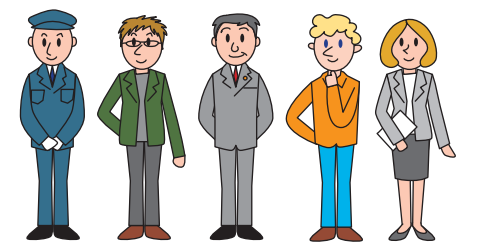
この先はどっちから

サイン整備推進のための協議会

整備は、関係機関や利用者の意見を取り入れ、調整しながら進めていきます。そのとき大切な役割を果たすのが、さまざまな分野や立場のメンバーによる協議会です。

協議会の役割

- 関係機関のサイン把握
- 情報共有・利用者のサインに対するニーズ把握
- 整備後のサインの検証など



協議会構成メンバー

- 交通機関関係者
- 行政機関関係者
- 専門家・研究者、デザイナー、観光関係者等
- 利用者(外国人、市民、障がい者等)内容・目的に応じて

協議会は地域全体の案内・誘導サインに関するニーズや課題を把握し、解決策等について継続的に検討・調整することとし、主として構成員間の情報の共有、連絡調整、意見交換を行います。

